

令和5年度 学校関係者評価委員会 評価結果報告

埼玉医療福祉会看護専門学校

1. 開催日時：令和6年5月27日（月） 14時～15時15分
2. 場 所：埼玉医療福祉会看護専門学校2階研究室1
3. 出席者：原嶋 弥生（埼玉医科大学病院看護部長）
横塚 智実（丸木記念福祉メディカルセンター看護部長）
村田 亨（同窓会会長 <丸木記念福祉メディカルセンター精神療養
第2病棟看護師長>）
諸田 一雄（埼玉医療福祉会事務局長）

（敬称略）

オブザーバー：藤山 トキ（埼玉医療福祉会看護専門学校 副校長）
大野 敏之（埼玉医療福祉会看護専門学校 事務長）

4. 配布資料

- ・令和5年度埼玉医療福祉会看護専門学校自己評価結果
- ・令和5年度学校運営方針
- ・令和5年度学校運営に関する業務
- ・卒業生アンケート結果
- ・就職先による卒業生評価結果

5. 進行

- ・1～10の項目について、藤山が補足説明を加えながら話し合い、下記の①～⑩の学校運営全体の評価をした。

6. 評価項目

- ① 教育理念・目的・人材育成像
- ② 学校運営
- ③ 教育活動
- ④ 学修成果
- ⑤ 学生支援
- ⑥ 教育環境
- ⑦ 学生の募集と受入れ
- ⑧ 財務
- ⑨ 法令遵守
- ⑩ 社会貢献・地域貢献

7. 結果

● 項目別評価結果

<評価基準>適切 4、ほぼ適切 3、やや適切 2、不適切 1

(1) 教育理念・目的・人材育成像

1-1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	理念等の達成に向けた特色ある教育活動に取り組んでいるか	3

評価コメント(自由記述)

医療を取り巻く社会情勢の変化に対応した教育理念・目的・人材育成像が設定されているが、少子化に伴う学生の学力レベル、社会性の低下など、学生の質の変化が顕著になってきているようだ。それでも、入学時の基礎学力講座の開催、保護者との連携強化など取り組みをしているかことがわかる。

(2) 学校運営

2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2-3	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-4	意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4
2-5	情報システム化等により業務の効率が図られているか	2

評価コメント(自由記述)

学校運営方針と各学年の経営方針を年度初めに策定し運営している。また、運営会議、教員会議等の会議を定期的実施しており、教員間で情報を共有していることがわかる。

情報のシステム化について、令和5年度より電子テキストが導入され、通信環境は整備できたが、まだまだ紙媒体で行っているのが現状である。情報システムの整備が課題となっていることがわかる。

(3) 教育活動

3-1	教育の理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4
3-2	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4
3-4	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-5	教員の質向上への取り組みは行っているか	4
3-6	教員の組織体制を整備しているか	4

評価コメント(自由記述)

教育活動として、3-1～3-7までの取り組みはしっかりできている。評価結果を基に能力別に時間外に勉強会を実施するなど、学習支援がされている。学生による授業評価では科目の平均評価が 4.32/5、臨地実習 4.24/5 と高い評価の割には、科目不認定を抱える

学生が多くいる。知識としての落とし込みができていない結果ではないかと推測できる。入学の早い段階での勉強習慣、勉強方法の獲得の支援を強化することが課題になると考える。

(4) 学修成果

4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格・免許の取得率の向上が図られているか	3
4-3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4

評価コメント(自由記述)

実習施設でもある埼玉医科大学系列への就職率が高い。免許取得率向上を目指した国家試験対策を1年次から実施している。とくに最終学年となる3年次の実習終了後に本格的に取り組んでいるが、全員合格には至っていない。全員合格を目指した国家試験対策の検討が課題である。前年度の国試不合格者に対して、卒後1年間学校が支援している取組みは評価できる。

卒業生の社会的評価の結果から、在学中から関わりを強化していくべき部分が明確になったのではないかと考える

(5) 学生支援

5-1	退学の低減が図られているか	3
5-2	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-4	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-5	学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか	3
5-6	保護者との連携体制を構築しているか	4

評価コメント(自由記述)

退学につながる要因(学力、経済面、健康面など)に対し、対応や改善策が検討されている。特に定期面接や臨時面接の結果を学習指導や生活指導に活かしている。悩みを抱え心身に不調をきたしている学生に対しては、「メンタルヘルスの相談についてのガイドライン」を用いて、専任の教員が対応しており、学生が安心して相談できる場が設けられている。学生の健康管理に関しては、健康管理委員会が組織されており、法人(施設)の協力体制も整えられている。

退学者が増加傾向にあり、入学選考等に課題があるのではないかとと思われる。

(6) 教育環境

6-1	教育上の必要性に十分対応した施設、教育用具等を整備しているか	3
6-2	学外学習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	NA
6-3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3

評価コメント(自由記述)

令和5年度から電子テキスト導入となり、通信環境が整備された。その他の教育用具に関しては、ある程度整備されているが、校舎内の空調設備が経年劣化による不具合があるためその都度修理している状況である。

6-2に関しては、コロナ禍後実施していないということでNAとした。

(7) 学生の募集と受入れ

7-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3
7-2	学生募集活動を適切に、かつ、効果的に行っているか	3
7-3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3
7-4	入学選考に関する実績を把握しているか	3
7-5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-6	入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いを行っているか	4

評価コメント(自由記述)

学生確保のための入学選考方法や時期・回数などの検討がなされている。しかし前年度より志願者が減少しており、さらなる募集活動の課題に向けての検討が必要と考える。

学校説明会等で就職先である関連施設との連携を図り、恵まれた学習環境から就職先までをアピールしてもよいのではないかと考える。

(8) 財務

8-1	学校及び法人運営の財務基盤は安定しているか	2
8-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	2

評価コメント(自由記述)

財務は法人経理が担当している。入学志願者の減少と中途退学者の増加等の問題点は明らかであり、今後いかにこの問題に取り組んでいくかが課題であると考えます。

(9) 法令遵守

9-1	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-4	自己評価結果を公表しているか	4
9-5	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-6	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

評価コメント(自由記述)

9-1~9-3の項目は適切に実施されている。

(10) 社会貢献・地域貢献

10-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1
------	---------------------------------	---

評価コメント(自由記述)

令和5年度において、学生に対し、積極的なボランティア活動支援は実施していない。今後の課題であるとする。